

すごい熱量です

中央児童センター



頑張ってます！



選ぶ折り紙に個性が出ます

中央児童センターでの「画用紙と折り紙で打ち上げ花火（7/23）」を見学させていただきました。子ども達は学校が終わった後に児童センターに来るのですが、放課後とは思えないほど元気いっぱいでした。先生と一緒に工作を始めたのですが、早く作りたい子や自分のペースで作りたい子など十人十色。出来上がった作品も子どもたちの個性が出た素敵な作品でした。先生方がたくさんのお子様達を見守っていて、安心して子どもが遊べる空間が作られていることを学べました♪

さかなたちよ覚悟せよ！

浦山・内山



浦山地区の様子



内山地区の様子

内山地区と浦山地区において魚つかみの行事がありました（7/28）。子ども達を中心となって川に放たれた魚たちを捕まえていきます。子ども達は手袋を着けているとはいえ、簡単に捕まえていきました。もはや黒部の子たちの才能なのでしょう…。網を使ってすくっている子もいたりして、にぎやかな行事でした。内山地区ではその後体育館で会食を行って、自分たちが捕まえた魚を食べていました。大人も子供も楽しめるこうした地域行事って大事ななおもいでした。

轟音が響き渡る

生地



目の前で広がる大きな花火



圧巻の水中尺玉

第33回くろべ生地浜海上花火大会（7/28）が行われました。台風の接近もあり、1日順延して日曜日になりましたが無事開催されました。会場についたのが花火が始まる少し前で、見る場所を探さなければと思っていましたが、会場が広いのと海上から打ち上げるので探す必要がありませんでした。いざ、花火が始まると花火が近いので、その分音がかかなり大きく聞こえます。「ドーン！！」と1発1発の迫力は想像以上でした。初めて水中尺玉をみて、空に打ちあがる花火とは別の美しさがありました。

夏到来！

石田



海岸はゴミもなくキレイ 近くに湧き水もあります



石田浜海水浴場が海開き（7/13）を迎えました。海、いいですね。最後に海で泳いだのはいつだったかな…夏休みを迎えてお客さんが海水浴を楽しみに来ていました。また、海開き期間中は、駐車場や休憩所、シャワー、更衣室が開かれています。さらに監視員の方もいますので安心して海水浴に来てください。楽しい夏の思い出を作りましょう！

新人のごあいさつ



地域の方にもご挨拶



下立地区の公民館

新しく地域おこし協力隊に入隊したので顔見せやご挨拶も兼ねて黒部市の公民館などに、あいさつ回りをしてきました。黒部市の公民館は大きくわけて16地区の公民館があります。皆さんは16地区の名前がわかりますか？僕は目下勉強中です。地区の名前を憶えないことにはお話が分からないことが多いのです(^; あいさつ回りを行っていると同じ黒部市の公民館と言っても、各公民館ごとに違った特色を感じました。その特色を肌で感じれた勉強になるあいさつ回りでした。もし新しい隊員を見かけたら16地区すべて覚えているか問題を出してあげてください♪

おしゃれなお店がズラリ



キレイなお花が入っています



美味しそうなお菓子

くろまるさんのイベントが山本家で行われました（7/28）。普段あまり見かけないようなお店が所狭しと並んでいました。各お店ごとにこだわりや思いが見て取れて、イベントに来られたお客さんは興味を持って周り、賑わいを見せていました。次の開催も楽しみです♪

ちやべちやべと通信

Vol.10発行
2019.8.7

黒部市 地域
おこし協力隊
隊員

小澤 泰史
（愛知出身）
昭和生まれ
最近の癒し：
猫

伊関 健太
（愛知出身）
平成生まれ
最近の癒し：
文鳥

Facebook
も見てね☆



きゅうりの漬け物にはまっています。
遠い親族にカップがいたのかもしれない
カップさんありがとう

真っ黒になりながら、昔ながらの文化をつなぐ…



洞窟ではなく炭焼き窯



窯の中は蒸し暑い



切断する人、しやすく並べる人



東布施

顔真っ黒、みんなで休憩・座談



崩れないように垂直に並べる



薪をくべて温度を上げていく



薪の投入が終わるとこんな感じ



無機質のベトで窯を覆う

先月に引き続き炭焼き現場に呼んでいただきました。まず前回焼いた炭を取り出します。マスクをすると顔の周りはおもう真っ黒!取り出した後は既定の長さに切っていますが、大量のため大変です。切られた炭は段ボールに詰められて計量されていきます。同時進行で今度は次の炭焼き準備のため、炭材(薪)を窯の中になるべく垂直にかつ倒れないように並べ入れていきます。またこの時5cm程度の厚みの木を炭材と地面の間に敷いて、炭化していない部分を作らないようにします。炭材を窯内に敷き詰めたら、薪をくべる部屋と窯正面壁をレンガとベト(焼き土)で作っていきます。このベトも勘で水加減をよくし、レンガの隙間に挟んだり、投げ付けたりして空気が漏れないようにします。ここからは現場を離れてしまいました。火を入れて、薪を投入し、3時間おきに薪を投入していき83℃程度まで温度が上がるのを翌朝まで待ちます。その後薪投入を終了し、下部の100c㎡の空気口を除き、薪投入口や前面にベトを張り付けていきます。木酢液の採取もこのあたりからはじめ煙突内温度150℃まで採取を続けます。その後も炭材の熱分解を進め、煙突が340℃を超えたら窯前面と煙突を完全にベトで封じ、蒸しに入ります。今回全てを体験していませんが、大変さやトラブルも経験させて頂きました。地域の方たちと一緒に作業をし、炭焼きについてや地域・黒部の事などを話し、交流が深められました。高齢化や担い手の問題もありますが、残していきたい文化のひとつです。

?子どもたちが作った麦わら舟を川に流す?



東布施

自慢の個性的な舟を流す

東布施の中陣で毎年恒例のニブ流し(7/28)。眠気の精霊や半年の穢れその他悪霊を地区から追放しようと始まった行事で、一見恐ろしく聞こえますが、子供達が自慢の手作り舟をひいて地域を一巡し、ニブ流しの歌を歌った後、川に流す可愛く素朴なお祭りです。

目がしみなながら…出荷作業体験



栃屋

お手伝いさんと一緒に



道具管理で黒部のねぎは安心

と言うと、玉ねぎかと思われるかもしれませんが。栃屋のネギ農家さんに作業体験を依頼。ちょうど収穫期のように、出荷の作業をお手伝いさんたちに交じりながらやらせてもらいました(7/10)。ねぎたんの根切りと洗浄、袋詰めをしてきました。ねぎも大量にあれば目がしみますが、じきに慣れます(笑)お手伝いさんとの交流も図れ楽しい時間を過ごせました。作業後は使い終わったハサミの消毒や片付け。黒部のねぎは安心して食べられます☆

水・風・音・食を感じながら黒部川と触れ合おう!



黒部川公園

催しの間は小川でゆったり

こちら恒例の黒部川水のコンサート&フェスティバル(7/28)が開催され、多くの親子が参加。流木や石、傘などを使ったアートや音楽・ダンスなどを楽しみました!もちろん食べ物もたくさん用意され、黒部川に寄り添いながら1日遊べちゃうイベントです☆

- 先輩に巧みな嘘を言われ、純粋な後輩は信じてしまうことがあります。
- 地図上の宮野運動公園を見て「ここに競馬場があるんだよ」とか…
- しかし、そんな先輩はすごく頼りになります。
- そんな二人がこの記事を書いています
- 地域のイベントや情報も是非教えてください!
- Facebook、Twitter もちゃべちゃべと更新中! 見てくださね~☆

小澤、伊関(黒部市役所内) (0765)54-2115

アドレス kenta-iseki@city.kurobe.toyama.jp



クイズ!?黒部のコト

毎年恒例の黒部川ぎときと魚のつかみ捕り大会は、8月の何日(固定)でしょう?

前号のクイズの答え

上街道は夏街道、下街道は冬街道です。黒部川の夏は雪解けなどで水量が多いため扇頂の愛本刎橋を通る上街道、冬は水量が減り渡りやすくなった下街道を通ったようです。